

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



2016-2017年度 RI会長
ジョン F. ジャーム 氏

例会予定 12月 7日
12月14日

VOL. 54 No. 19(通算No. 2501)

2016年 11月30日(水) 例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
S A A 報告
諸 報 告
幹 事 報 告
会 長 挨 拶
外 部 卓 話 園田裕明様

2016-2017年度 会 長 斎 藤 広 巳 幹 事 北 村 英 明

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



認証状

- (1) 創立記念日 1963年9月25日
(常陽銀行 水海道支店)
- (2) RI加盟承認 1964年1月28日
- (3) チャーターナイト 1964年5月17日
(県立水海道一高)
- (4) チャーターメンバー34名
(内現在会員数1名)
- (5) 創立当時のガバナー 小野 康平 氏
- (6) スポンサークラブ 土浦ロータリークラブ
- (7) 特別代表 細野 勝久 氏
- (8) 所在地域 常 総 市



11月はロータリー財団月間

例会報告 VOL. 54 No. 18 (No. 2500) 11月16日(水)晴れ (司会 瀬戸隆海委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎外部卓話

週間に寄せて 稲本修一様

ビジター

国際ロータリー第2820地区 青少年奉仕総括委員長 稲本修一様(土浦南ロータリークラブ)

誕生祝

米山功労者表彰



《会 員》染谷正美会員



荒井功典会員

諸 報 告

親睦活動委員会 鯉沼敦規委員

12月17日(土) 忘年会・クリスマス会の返事をだされていないかたは、宜しくお願い申し上げます。

社会奉仕・青少年奉仕委員会 登坂 寛青少年奉仕委員長

11月12日(土)に常総市と共催の復興事業が開催されました。参加人数は小学生・・10名 一般・・2名
市の職員・・4名 ロータリークラブ・・6名 でした。

幹 事 報 告 北村英明幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

会 長 挨 拶 齋藤広巳会長



先週のあいさつで、さまざまな地球環境問題がある中で地球温暖化問題は特に深刻なのではという話をさせていただきました。

温暖化最大の原因は、先週も話しましたが近代文明への進化の過程で産業革命が起き、生産効率化の為、エネルギーを化石燃料から作り大量の二酸化炭素が排出されたということは誰にでも知られている事です。

産業革命は、経済の発展をもたらす一方で目先の有用性を優先するあまり全体に対する視野を欠き、長期的・広域的なリスクへの気づかいを疎かにするものでした。結果として温暖化問題があるわけです。

国内・国外で最近起きている過去に例のないような豪雨もゲリラ豪雨といわれ、そのメカニズムも温暖化が原因だと考えられています。

昨年9月の常総市で発生した鬼怒川堤防決壊による水害もゲリラ豪雨が原因で起きたものです。

11月はロータリー財団月間

近年になり温暖化に対する国際的な取り組みがなされています。

1997年には日本の京都で国連気候変動枠組条約第3回締約国会議(COP3)が開催され、京都議定書として国際条約が結ばれました。

温室効果ガスを2008年から2012年の間に1990年比で約5パーセント削減するという内容でした。

先々週の金曜日11月4日、京都議定書に代わる地球温暖化対策の国際的な枠組みが発効しました。これは、2015年12月のパリ協定(COP21)で採択されたものです。パリ協定では、ツバルのソポアンガ首相が、「国の生き残りはこの会議にかかっている、これ以上海面が上がれば国が水没する」と節実な訴えをスピーチしています。南太平洋の国ツバルは海拔2mの国だからです。この訴えが共感をよび採択されました。

2001年の京都議定書ではアメリカは参加せず、中国は発展途上国だとして削減義務を課されませんでした。そのためその効力に疑問の声が上がっていました。今回のパリ協定にはアメリカ・中国とも参加批准したことが大きな前進と言えます。アメリカと中国が世界の温室効果ガスの40%を排出しているからです。

アメリカのオバマ大統領は、「いつの日か地球を救った日だと思い起されることになるだろう」とスピーチしています。

特に中国は経済成長を重視していて温暖化対策は足かせになると考えていました。しかし大気汚染が問題になり国民の間でも大気汚染に関心が高まり、問題解決の為石炭の消費をおさえ温暖化対策を通じ省エネ分野を発展させ、産業構造の改革につなげる狙いがあったようです。

一方、京都議定書では重要な役割を果たした日本はパリ協定では出遅れ、今後の国際会議では日本抜きで行われ、日本に不利なルールになる可能性があるといわれているようです。残念なことです。

今回のパリ協定の発効が、オバマ大統領が言ったように地球を救った日になれるよう願っています。

外部卓話 インターアクト週間に因んで

国際ロータリー第2820地区 青少年奉仕総括委員長 稲本修一様



伝統ある水海道ロータリークラブの皆様の前でお話するのは緊張いたしますが、また、北村パストガバナーはじめ、先輩諸氏がいらっしやるところで、青少年奉仕の活動をお話するのは釈迦に説法のようなものでございますが、私が知る範囲で話させていただきますので、我慢して聞いていただければ幸いです。

まず、インターアクトクラブから始めます。

皆様の分区にインターアクトクラブが無いとはいえ、インターアクトがどのような目的で、どんな活動をしているかは既にご存知のこととは思いますが、お役目なのでお話しさせていただきます。

インターアクトクラブはいつ頃出来たかと申しますと、54年前の1962年11月5日にアメリカ・フロリダ州のメルボルンRCの提唱でメルボルン高校に誕生しました。後にこれを記念して11月5日の週を世界インターアクト週間に制定されました。ですから先々週がインターアクト週間だった訳であります。

アメリカに出来た翌年には日本で第1号のクラブが誕生しております。高校野球強豪校の仙台育英高校が第1号です。100名を超える構成人員で当時、世界最多のクラブ員を擁していたそうであります。

現在、世界では会員数約25万人、クラブ数は約11,000クラブほどあるそうです。日本では、30地区に550のクラブがございます。そして我が2820地区には現在インターアクトクラブが5クラブしかございません。私が10年前に地区インターアクト委員長をしたころは7クラブありましたが、茗溪学園高校と聖徳学園高校がなくなりました。5クラブというのは、残念ながら全国最低でございます。

現在の5校を紹介しますと、水戸ロータリーがスポンサーの水城高校、日立港RCがスポンサーの茨城キリスト教学園中学・高等学校、水戸西RCの水戸女子高校、東海那珂RCの県立水戸農業高校、そして土浦南

11月はロータリー財団月間

RCの東風高校でございます。私立が4校、県立が1校です。当地区は私立が多いのですが、他地区では逆に県立・公立が多いようです。

インターアクトの目的は、奉仕と国際理解に貢献する世界的友好精神をもって共に活動する機会を提供することです。12歳から18歳までの青少年を対象としています。彼らはこの目的を目指すことにより、リーダーシップ、他人に対する思いやり、責任感、地域社会や国際社会の一員としての自覚を養う事を目標として、様々な活動をしています。

インターアクトクラブはロータリアンがその目的の遂行に当たって、指導監督するという責任があります。学校と緊密な連携をとりお互いの立場をわきまえて協力していくことが大切です。

そうは言いつつもいつもくっついているわけにはいきませんから、担当の先生に指導を委ねているのが現状です。しかし、例会には必ず出席してコメントをするというのがノーマルな形でございます。

それぞれのクラブは、障害者や高齢者施設、あるいは児童クラブなどでのボランティア、赤い羽根などの募金活動、地域の清掃活動、留学生との交流活動など、地域のニーズをさがして活発に行っています。

2820地区の行事としましては、2つございます。ひとつは5クラブが一堂に会しての年次大会です。持ち回りでホスト校がテーマを掲げて楽しい意義のあるプログラムを考えてやっています。今年は茨城キリスト教学園高校がホストで、各クラブの活動の発表と先進国と途上国との貿易の仕組みをゲームをしながらたのしく学んでいました。

もう一つの事業は研修旅行です。以前は韓国研修旅行を行っていましたが、残念ながらここ2年は韓国情勢が不安定のため沖縄研修になっています。私は2回韓国研修旅行に同行しましたが、現地の高校生との交流、そして38度線にある板門店を訪れる旅は、平和な日本とかけ離れた緊張を経験し、平和の大切さを再認識できる貴重な体験であります。沖縄も平和を考えたり、米軍キャンプの家族との交流プログラムもあり、意義ある研修が出来ますが、個人的には国際理解という意味でも韓国研修が復活できればと願っています。

先日、全国インターアクト研修会が名古屋でございまして、それにインターアクト委員長と委員が参加しましたが、非常なショックを受けて帰ってきました。何かと申しますと、愛知県は第2760地区ですが、インターアクトクラブが15クラブもあり、とても活発な活動をしているようです。ある高校のインターアクトクラブはクラブ員も多く何班かに分かれて、1年間に延べ350回の奉仕活動をしているということでした。また、自分たちの活動費はバザーをやって自立しているクラブもあるようで、ロータリークラブと共に社会に大きなインパクトを与えているようです。インターアクトクラブが地域でしっかり根付き、ブランド化されているとのことでした。

先程申し上げましたように、我が地区は5クラブです。それもみんなどういふ訳か常磐線沿線です。4, 5, 7, 8分区にはありません。ぜひとも各分区にひとつのインターアクトクラブがあれば願っています。設立はそんなに難しくありません。一番肝心なのはクラブのやる気だと思います。ロータリーの皆様は近隣の高校に何らかの接点があると思います。その接点を利用してインターアクトの意義をお話くだされば扉は開かれると思います。当地区は、県立高校は1校しかありませんが、先程申しましたが、隣の栃木県では県立高校の方が多いいいことです。愛知県の地区では半分以上が県立高校です。すでに学校内にある文化部で、例えば英語部がインターアクトクラブとして活動しているケースもあります。

私どもの土浦南RCは、約40年スポンサーをしていた土浦日本大学高等学校インターアクトクラブですが、クラブ員が集まらないとの理由で廃部になってしまいました。その後、新しいインターアクトクラブを立ち上げるかどうか、クラブ内でも賛否はありましたが、インターアクトの趣旨を十分理解してくれる学校があるなら作ろうということになりまして、私が設立委員長を仰せつかり、元ロータリアンだった霞ヶ浦学園の理事長に話を付け、傘下のつくば国際大学東風高校にクラブを作ることが決まり、何度かの説明会を開いて先生方の理解を深めていただき、2012年2月に72名の創立会員をもってインターアクト認証状伝達式を行いました。

新クラブでは、例会には必ずロータリアンが何人か出席し、例会の最後にロータリアン講評として必ずひとことコメントすることになっています。

卒業式、入学式には会長が招待され、祝辞を述べています。

先の失敗を教訓に、学校との繋がりを密にしていることで、学校側との関係も良好な状態で現在に至っています。

11月はロータリー財団月間

どうか、第7分区の重鎮であります皆様のクラブでもぜひともインターアクトクラブを立ち上げていただければと願っています。

次にロータリーアクトクラブですが、ロータリーアクトクラブは18歳から30歳までの成人が対象です。我々ロータリアンは、インターアクトと違って彼らの自主性を重んじ活動を見守る、というスタンスです。地区内に8クラブございます。真壁、水戸、下館、つくば学園、土浦南、古河地区、茨城大学、茨城県北RACでございます。残念ながらRACも第7分区にはございません。

1昨年出来ました茨城県北RACは第1分区全体で立ち上げたいいわゆる共同提唱クラブです。第7分区でもそんな方法もございますので、分区の集まりの時でもお話し合いをしていただけたらと思います。

再来年には、茨城で全国ロータリーアクト研修会が行われます。ロータリーアクター、ロータリアンが全国から約700名位参加する大きなイベントです。既に実行委員会が立ち上がりましたが、それぞれ仕事を持ちながらの準備ですので、かなり大変だと思います。地区内の皆様にもご支援していただくこととなりますのでよろしくお願い申し上げます。

次にロータリー青少年指導者育成プログラム、いわゆるライラですが、今年は猿島少年自然の家で行われました。ライラ委員長さんのお話ですが、本来は2泊3日が望ましいのですが、最近会場の確保が非常に難しく、今年も1泊2日になってしまったということです。60名の参加者がグループに分かれて、今回のテーマ「夢とリーダーシップ」について、初めてあった人同志がディスカッションして、みんなの前で発表するというプログラムはとても意義深いものでした。

会場や運営上色々問題があったようで、次年度はその反省を踏まえて計画したいとのことでした。

最後に、青少年交換委員会についてですが、高校生が対象の長期交換と短期交換のプログラムがございます。長期交換プログラムは、1年間の留学でありまして、アメリカ、フランス、タイと行っています。各学校に募集要項を送って募集していますが、今年は定員3名のところ、4名の応募がありました。4名派遣したいところですが、予算と受け入れ先の問題もありますので、先日4名の生徒とその親御さん、それに交換留学ですからむこうの生徒を受け入れるロータリークラブのロータリアンに集まっていたいで面接と英語の試験を実施し、3名を選考したところでございます。

7月に青少年奉仕研究会を開催しましたが、その時、アメリカ、フランス、タイから戻ってきた長期交換の生徒が帰国報告をしましたが、親善大使の自覚が伺える、それはそれは堂々としたスピーチに、親元を離れての1年間ですが、その成長著しいものがあることを感じました。参加されたロータリアンの皆様も一同に感心にておられました。

短期交換学生は、今年12月にタイの友好地区であります3350地区に5名行きます。5人中4人はインターアクトの生徒です。現地のロータリアンのお宅にホームステイをして、現地高校生との交流や日本と違った文化に触れ、異文化への関心を深める絶好な機会となりますので、十分な準備をして行ってもらいたいと願っています。

来年の多分地区大会に合わせてタイから高校生が交換としてくる予定ですので、日本での滞在で多くの事を学んでいただけたらと思っています。

以上、青少年奉仕の4部門の概略をお話しさせていただきましたが、ロータリーは次の時代を担う青少年のためのプログラムが全体の80%とも言われています。

皆様におかれましても地区の青少年奉仕の活動にさらなるご支援ご協力をいただけますよう、お願い申し上げます。

11月はロータリー財団月間

ロータリーの特別週間 Special Weeks in Rotary

「世界インターアクト週間(11月5日を含む1週間)」(World Interact Week)

RI理事会は、ロータリークラブとインターアクトクラブに、11月5日を含む1週間で「世界インターアクト週間」として遵守するように奨励しています。それは、ロータリークラブとインターアクトクラブを「顕著であり、国際規模の活動」に参加させるためです。

出席報告 五木田利明副委員長

| 会員総数 | 出席者数 | 欠席者数 | 出席免除 | メイク | 出席率 |
|------|------|------|------|-----|--------|
| 53名 | 41名 | 12名 | 0名 | 7名 | 90.57% |

ニコニコボックス 大澤 清副委員長

入金計 ¥24,000 累計 ¥771,100

誕生祝御礼《会員》染谷(正)会員

先週土曜日、社会奉仕の事業「水害から学ぶ・歴史教育」参加して来ました。ドローンを飛ばし、水位シール貼りをしてきました。 斎藤会員

寒くなってきました。御身体にご自愛下さいませ。 北村(英)会員

稲本様本日卓話宜しくお願い致します。 石塚(克)・五木田(裕)・瀬戸 各会員

本日は研修のため欠席予定でしたが、早く戻れたのでドタ出席しました。 大澤会員

本日早退します。 染谷(昭)・雨谷 各会員

欠席が続きました。 古矢会員

例会欠席しました。 染谷(正)・石塚(利)・山牟田・鯉沼・染谷(秀) 各会員

会報委員会 亀崎徳彦委員長 福田克比古副委員長 白井 豊委員

